

春日通り

丹波出身の春日局が居住 波瀾万丈、女性の頂点に

播磨坂と交差して太い道路が東西方向に走っている。東京都豊島区の池袋から墨田区の本所までをつなぐ幹線道路は、通称「春日通り」と呼ばれている。播磨坂と接するT字路を起点に南東に20分ほど歩くと、大きな五差路の交差点に行き当たると、交差点の名称は「春日町」。かつてこの一帯は、江戸幕府の3代将軍徳川家光の乳母となり、後に大奥を取



春日通りの道路標識



文京区役所前の交差点

り仕切った春日局の屋敷があったことから「春日殿町(とのまち)」と呼ばれていた。「春日」の名称は、その名残を今に伝えている。

春日局の生誕地は、現在の丹波市春日町黒井。明智光秀の家臣齋藤利三の娘として、丹波国の黒井城の下館だった興禅寺で生まれた。幼名は福。興禅寺には福が産湯につかったとされる井戸や腰をかけて遊んだとされる石が残されている。

1989年にはNHK大河ドラマで「春日局」が取り上げられ、多くの歴史ファンが生まれ故郷を訪れた。地元では今でも春日局や黒井城にちなんだイベントが開かれている。

春日局は春日通り沿い

にある麟祥院に眠る。家光が春日局の法名をもつて改号したとされ、墓所や像、肖像画が残されている。墓石には四方に穴が開けられており、これは「死して後も天下の政道を見守り之を直していられるよう黄泉から見通せる墓を作ってほしい」との遺言に沿ったという。

「春日町」の交差点近くの住宅地



春日局にあやかって命名された出世稻荷神社



菩提寺の麟祥院にある春日局像

に、赤い鳥居がひっそりと建っている。春日局の屋敷の鎮守として創建されたと伝わる。光秀とともに織田信長に弓を引いた逆賊の武将の家に生まれながら、後に女性の頂点ともいふべき立場に上り詰めた春日局にあやかり、「出世稻荷神社」と呼ばれるようになった。その前に立ち、波瀾(はらん)万丈の人生を送った丹波の強くて優しい女性を想像してみた。